

プレミカ・ジャパン

円谷 卓司 代表取締役

ケイ素・水素の生成器や乳精類商品等NBで展開するプレミカ・ジャパン(本社東京都目黒区)は4月1日、新しい報酬プランに「プラチナポジション」を新設する。上位ポジションを目指すための施策としてだけでなく、23年に10周年を迎えるにあたり、事業の拡大を加速させたい考え。真剣に活動する会員のためのプランでもあるとし、組織の活性化を迫る。円谷社長に、新プランの詳細や取り組みの背景について話を聞いた。

4月1日から始まる新プランについて。

当社は来年で創業10周年を迎える。まずは、この10周年を迎えるにあたって、事業を加速させるための施策が新プラン導入だ。NBを本業にしようとする会員も増えた。一生懸命やっている人が多くの報酬を得られるようにする仕組みこそ、業界だけでなく、会社成長していく要素だと考えている。

当社では、バイナリー

を目指しやすくなる「プラチナポジション」という新たなポジションを設けたことで、右のグループ構築に専念すれば良いという仕組みだ。当然、報酬もそれぞれに差を分けることができる仕組みにして



左ツリーの400ポイントがすでに構築されている。右のグループは、4月からの新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。

「新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。動向をどのように予想しているか。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」

4月からプラチナポジションを新設

の左右ツリーに2000ポイントがすでに構築されている。右のグループは、4月からの新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。

「新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。動向をどのように予想しているか。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」

クティブポジションを獲得すると「プラチナスター」のタイトルを獲得できる。その上位が「エグゼクティブツアールホルダー」で、左右ツリーに2000ポイント獲得している。右のグループは、4月からの新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。

「新プラン導入後の動きをどのように予想しているか。動向をどのように予想しているか。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」

「10周年の位置付けをどう考えているか。売り上げ数字や会員数の目標はあえて立てていない。目の前のことを一つ一つクリアしていくことが重要で、人生を築いていくには、人生を築くという目標を持っていくことが重要だ。」

「12月はお世話になった人に挨拶回りをする期間にしている。この内容は、全会員へ伝えていくことだ。これからは、変わらぬ現場に足を運び、答えを見つけていく。この繰り返しの感謝に行っていく。」